

(様式第1号)

みなと SDGs パートナー 登録申請書

2023年8月31日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企 業 ・ 団 体 名	博多港心頭株式会社
所 在 地	〒813-0018 福岡県福岡市東区香椎浜心頭四丁目2番2号
代 表 者 役 職 ・ 氏 名	代表取締役社長 則松 和哉
担 当 者 連 絡 先	電話：092-663-3111 メール：s-yamakubi@hakatako-futo.co.jp
ウエブサイトURL	https://hakatako-futo.co.jp/

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

- 港湾施設の整備並びに経営
- 公共港湾施設の管理運営業務
- 公共港湾施設の維持管理業務
- 港湾荷役機器の貯貸
- 港湾施設の経営及び管理運営に付随する業務
- その他港湾の振興に関する業務

3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標
✓環境 ✓社会 ✓経済	・さらなる環境配慮型コンテナターミナルの推進に向けた取組	・「CNP認証（コンテナターミナル）」の取得 ・コンテナターミナルに隣接したバンプール施設の実現 【2023年度～2024年度予定】
✓環境 ✓社会 ✓経済	・ITを活用した業務の効率化に向けた取組 (博多港物流ITシステムの活用)	・外来トレーラー待ち時間 20分以内
✓環境 □社会 □経済	・環境に配慮した社用車の導入（EV、PHEV、FCV等）	・環境に配慮した社用車の導入率 50%以上

SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1 人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	・人権研修等を実施することにより、差別しない体制を整備している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	・「ハラスメントの防止に関する規程」を制定し、ハラスメント防止する体制を整備している				5.1 5.2 5.5			8.5 8.8									16.1	
3	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	・弾力的な就業体制を確立し、長時間労働の防止に取り組んでいる								8.5 8.8									
4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	・人権研修等を実施することにより、差別しない体制を整備している			4.4				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3								
5	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	・社内の管理職で構成される安全衛生委員会を定期的に開催し、安全衛生パトロールや防災訓練、5S活動等に取り組んでいる		3					8										
6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	・産業医の配置や定期的なストレスチェックにより職員の心身の健康維持に取り組んでいる		3															
7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	・特別有給休暇を導入する等、働きやすい環境を整備している			5.1 5.5			8.5		10.2 10.3									
8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	・職務や職責に応じた社内外の研修を活用することにより、職員の能力向上を図っている			4	5.5		8	9										
9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	・関係法令を遵守し、対応している				5.5		8.5		10.2 10.3									
10	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	・産業医の面談やストレスチェックにより、早期に職員の心身の異常の把握や職員の健康増進に向け福利厚生の充実に努めている		3				8											
環境	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進に取り組んでいる	・荷役機械で使用できる部品はリユースし、廃棄物の排出量を抑制している ・ユーザーが利用できる古紙回収庫を設置し、リサイクルの推進に取り組んでいる										11.6 12.4 12.5		14.1					
	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	・省エネ法に基づきエネルギー使用量を把握し、分析することでエネルギー利用の効率化に取り組んでいる					7.3						13						
13	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている	・荷役機械のハイブリッド化・電動化により温室効果ガス排出量の削減に取り組んでいる ・環境に配慮した社用車を導入していく【予定】					7.2 7.3					12.4 13.3							

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる				3.9			6.3				11.6	12.4						
	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	・ヒアリやセアカゴケグモ等の特定外来種生物による被害の防止に取り組んでいる						6.6									15		
	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる						6.4	6.6											
	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している				3.9			6	7					12	13.3	14	15		
	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	・会社案内に荷役機械の電動化等、温室効果ガス排出量削減に関する取組み内容を掲載している											12.6						
	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	・再生可能エネルギーの導入を検討していく【予定】					7.2						13						
	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる												12.2	13	14	15			
製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	・荷役機械を安全に提供するため、24時間364日のメンテナンス体制を構築している		3.9									12.4						
	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	・利用者の意見・要望等を把握できるよう定期的に協議している								9									
	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	・物流システムにより、外来トレーラーの待ち時間削減に寄与し温室効果ガスの排出量削減に取り組んでいる				6							12	13	14	15			
	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
社会貢献・地域貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	・常時コンテナターミナル周辺の交通状況を把握し、混雑緩和に努めている				4					9		11	12		14	15		17
	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	・親子見学会や学生の視察を開催し、港湾の役割の情報発信を行っている				4							11			14	15		17
	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している									8	9		11	12	13				

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目															
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
組織体制	【内部管理体制】 ・SDGsの達成に向けた経営理念及び経営目標を社内で共有している	・経営理念及び経営目標を社内で共有している									8	9						17
	【法令遵守】 ・反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄、不正競争行為の防止など法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	・業務の適正を確保するため、「内部統制システム」を構築し社内の法令順守の徹底等に取り組んでいる																16
	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している																	16
	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	・ユーザーの意見・要望等を把握できるよう定期的に協議している															16	17
	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	・安全衛生・災害のリスクに対応するため「安全衛生管理計画」を策定し、定期的な訓練を実施している																16
3	【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる																	16
4	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	・事業継続計画を含む危機管理マニュアルを策定し、定期的に訓練を実施している									9	11	13					16
5	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている									8	9							17

上記以外で設定した取組項目

(様式第4号)

令和6年10月 8日

SDGs達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所 在 地： 福岡県福岡市東区香椎浜ふ頭四丁目2番2号
名 称： 博多港ふ頭株式会社
代 表 者： 代表取締役社長 駒田 浩良
登録年月日： 令和5年9月29日

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第7条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標	指標の進捗状況
✓環境 ✓社会 ✓経済	・さらなる環境配慮型コンテナターミナルの推進に向けた取組	・「CNP認証（コンテナターミナル）」の取得 ・コンテナターミナルに隣接したバンプール施設の実現 【2023年度～2024年度予定】	・コンテナターミナルに隣接したバンプール施設 2023年度一部供用開始 2024年度全面供用予定
✓環境 ✓社会 ✓経済	・ITを活用した業務の効率化に向けた取組 (博多港物流ITシステムの活用)	・外来トレーラー待ち時間 20分以内	・2023年度 平均待ち時間 19分
✓環境 □社会 □経済	・環境に配慮した社用車の導入(EV、PHEV、FCV等)	・環境に配慮した社用車の導入率 50%以上	・2023年度 社用車の導入なし

(様式第4号)

令和 7年10月10日

SDGs達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所 在 地 :	福岡県福岡市東区香椎浜ふ頭四丁目2番2号
名 称 :	博多港ふ頭株式会社
代 表 者 :	代表取締役社長 駒田 浩良
登録年月日 :	令和5年9月29日

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第7条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3側面	SDGs達成に向けた 重点的な取組	2030年に向けた指標	指標の進捗状況
✓環境 ✓社会 ✓経済	・さらなる環境配慮型コンテナターミナルの推進に向けた取組	・「CNP認証（コンテナターミナル）」の取得 ・コンテナターミナルに隣接したバンプール施設の実現 【2023年度～2024年度予定】	・「CNP認証（コンテナターミナル）」の取得 ⇒2025年9月に全国で唯一、最高評価5+を獲得 ・コンテナターミナルに隣接したバンプール施設の実現 ⇒2024年度全面供用開始
✓環境 ✓社会 ✓経済	・ITを活用した業務の効率化に向けた取組 (博多港物流ITシステムの活用)	・外来トレーラー待ち時間 20分以内	・2024年度 19分
✓環境 □社会 □経済	・環境に配慮した社用車の導入 (EV, PHEV, FCV等)	・環境に配慮した社用車の導入率 50%以上	・2024年度 2台導入 (EV, PHEV) 導入率 27%